

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 院内同種骨バンク設置に向けた運用体制構築に関する研究

[研究責任者] 長崎医療センター 整形外科 医長 前田純一郎

[研究の背景]

骨移植は、人工関節再置換術、骨腫瘍切除後再建、外傷による骨欠損、脊椎固定術など、整形外科診療において広く用いられている再建法です。患者さん自身の骨を用いる自家骨移植が一般的ですが、骨を採取する箇所の痛みや採取できる量に限界があるなど問題点があります。一方、別の患者さんから骨をいただく同種骨移植はこれらの問題を回避でき、大量の骨組織を供給できるため、人工関節再置換術や骨腫瘍切除後の広範な骨欠損に対して有用な治療法と言われています。特に人工股関節置換術で摘出される大腿骨頭は、同種骨として非常に有効な骨資源です。自施設内で摘出される大腿骨頭を、安全管理体制を整えた院内同種骨バンクで管理・運用することは、診療体制の充実および患者さんへの医療提供体制の向上につながると考えられます。

本院では、患者さんの同意を得て、人工股関節置換術等で摘出された骨組織を提供頂き、感染症検査・加工・超低温保存・供給までを一体的に管理する「院内同種骨バンク」を整備します。本体制を構築することで、同種骨移植を必要とする患者さんへ迅速かつ安全に骨組織を提供し、良質な医療の提供に寄与することが期待されます。

[研究の目的]

本研究の目的は、院内同種骨バンクの運用体制を構築し、その体制が安全かつ適切に機能するかを評価することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

変形性股関節症などの患者さんで、2026 年 8 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日の間に長崎医療センターで人工股関節置換術を受ける患者さんのうち、

- ・同種骨移植を受ける患者さん
- ・骨提供にご協力くださる患者さん

●研究期間：倫理審査委員会承認日から 2031 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、感染症結果）

●検体や情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

整形外科 医長 前田純一郎

電話番号：0957-52-3121（代表）